

## 事業名

# 健康福祉と防災のまちづくり推進事業

## 団体名

元真如堂町健康福祉と防災のまちづくりを考える会（2014年～）

### 【会の活動目標】

みんなで力を合わせて、「誰もが、いつまでも元気で生きがいにあふれ、安心して暮らし続けることができる健康福祉のまちづくり（地域包括ケアシステム）」をめざします。

### 【3つの基本活動】

- ① みんなで楽しく住み合う
- ② みんなで学び合う
- ③ みんなで支え合う

2016年度は

京都市上京区中立学区「健康福祉と防災のまちづくり」アンケート調査を実施しました！

### 【調査の趣旨】

今日、少子高齢化が進む中、ひとり暮らしや要介護のお年寄りが増えて、みんなで協力し支え合っていく必要性が大きくなってきています。他方、マンション建設等で新しい住民が増え、住民同士のつながりが希薄になってきているといわれます。特にこれから、大きな災害が起こった時に、みんなで支え合い助け合っていくことができるのか、とても心配です。

そこで、今回の調査の趣旨は以下の三点です。

- ① 地域の中で、どんな課題やSOSの声があるのか、また、課題を解決・支援する力がどの程度あるのか、その現状を知ること。
- ② 防災に対する意識と備えについての現状と課題を把握すること。
- ③ 調査結果を踏まえて、町内会・自治会で、今後健康福祉のまちづくりの推進や防災対策・防災計画を検討していくための基礎資料を得ること。

### 【中立学区の住協や自主防災会との共催で実施しました！】

【共催】 中立学区住民福祉協議会

会長 上林 研二

中立学区自主防災会

会長 佐々木 道雄

元真如堂町町内会

会長 水口 豊平

元真如堂町健康福祉と防災のまちづくりを考える会 代表 美留町 利朗

## 【調査の対象】

- ・中立学区に住む町内会・自治会に所属するすべての世帯を対象に調査する。  
(東部 438 世帯、中部 461 世帯、西部 359 世帯、計 1,258 世帯)

## 【調査の実施方法】

- ・調査の実施とまとめのため、検討会を開催する。検討会は、考える会、住民福祉協議会・自主防災会の有志とまちセンの指導員で組織する。今後同志社の学生の参加を検討する。
- ・中立学区自主防災会にお願いし、町内会・自治会の各世帯への配布と回収をお願いする。
- ・各町内会の自主防災会には、名簿に基づき、必要な調査票を届ける。
- ・個人情報保護の立場で、調査票は、専用の封筒に入れて回収する。
- ・調査票は、集計ソフトで集計し、表とグラフにまとめ分析する。
- ・性、年齢、家族構成（一人暮らし）、住居形態別に結果を整理し、分析する。
- ・町内会・自治会別に調査結果をまとめ、資料提供できるようにすることを検討する。
- ・自由記述はそのまま文字に起こす。
- ・全体の分析結果を報告書にまとめる。

## 【スケジュール】

- ・アンケート調査の内容検討と住民福祉協議会への協力依頼（8月～9月）
- ・調査案の検討会の開催（11月～12月）地域包括支援センターやまちセンとの連携。
- ・自主防災会への調査の趣旨と方法の説明会 3月4日（土）午後2時～ 中立会館
- ・調査の実施（配布と回収） 2017年3月5日（日）～19日（日）  
\*封筒のまま20日午後6時～8時中立会館和室に持参。または、20日夕方までに中立会館住協ポストに投函を依頼。
- ・調査結果のデータ入力 3月下旬。以下は2017年度に実施予定。
- ・調査結果の分析と報告書の作成 4月～5月 検討会開催
- ・調査結果報告会 5月中旬。
- ・調査結果報告書の印刷と配布 5月末。

## 【中立学区アンケート回収状況（2017.3.30）】

番号	町名	会員数	回収数	回収率	番号	町名	会員数	回収数	回収率
01	元土御門町	28	18		○23	中橋詰町	42	16	
○02	広橋殿町	14	8		○24	三丁町	69	25	
03	東薬屋町	10			25	小川町	30	21	

04	龍前町	16	2	
○05	花立町	27	17	
○06	仕丁町	14	12	
○07	清和院町	50	13	
○08	東長者町	22	19	
○09	御所前SM	40	18	
○10	室町SH	85	14	
○11	仲之町	67	43	
○12	PH 洛楽荘	23	17	
○13	GR 御所西	29	17	
○14	センチナリオ	13	10	
15	京都日本語学校	—	—	
東部地区		438	211	47.5%
○16	元真如堂町	56	21	
○17	土御門町	22	17	
○18	頭町	26	26	
○19	讃洲寺町	26	14	
○20	小川有春町	40	18	
21	菊屋町	28	24	
○22	西之口町	20	15	
26	グレースー一条	26		
27	京都美山高校	—	—	
中部地区		359	197	54.9%
○28	亀屋町	45	15	
○29	松の下町	40	29	
30	甲斐守町	32	11	
31	一丁目町	18	3	
32	二丁目町	3		
33	主計町	6	5	
34	突抜町	8		
○35	橋本町	34	24	
○36	油橋詰町	30	24	
○37	堀川GH	73	48	
○38	堀川SH	30	23	
○39	フォルム一条	32	17	
○40	東橋詰町	57	17	
41	ファミリー長者町	27		
42	ライオンズM	—	—	
西武地区		435	215	49.4%
中立学区合計		1,232	620	50.3%

\*番号の○印は、自主防災役員担当者アンケートをご提出いただいた町内です(31)。

\*会員数は、中立学区住民福祉協議会の平成28年度町内代表者名簿記載の件数です。会員数は調査票の配布数と同じです。

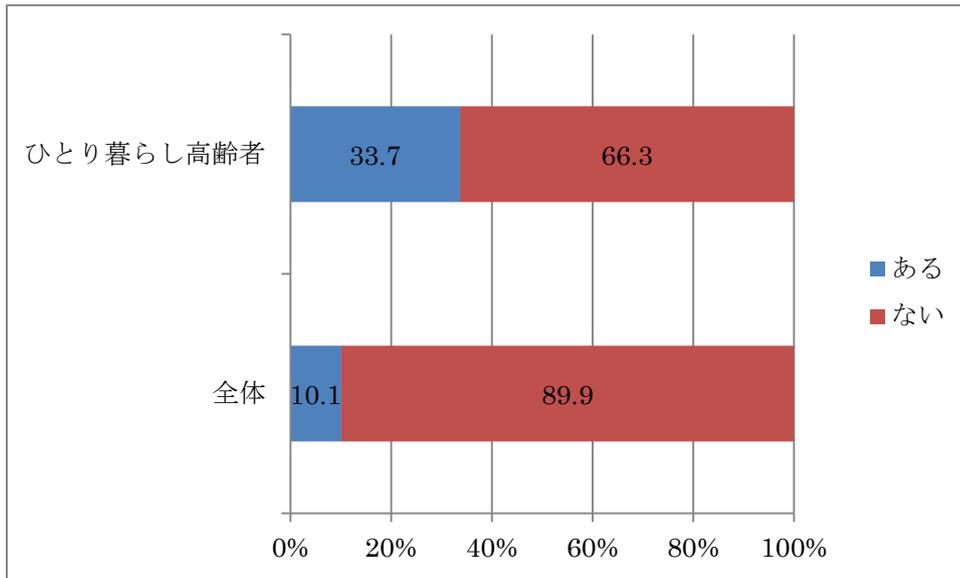
\*寄せられた調査回答(625)の内、同じ回答のダブリと白紙を除いて有効回答数(620)としました。

\*回収率は、有効回答数を町内会自治会の会員数で除して算出しました。



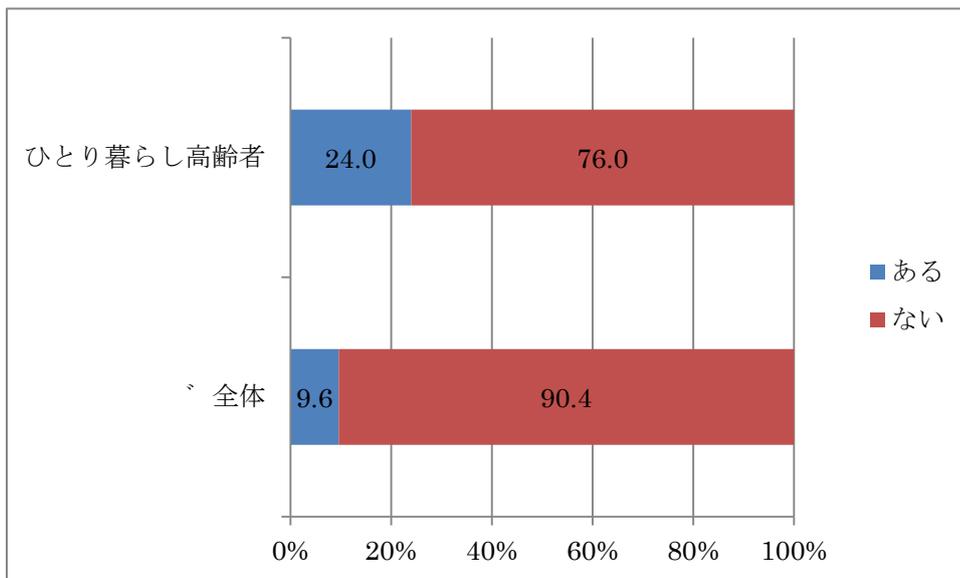
**調査結果の分析は新年度の取組みです。でも少しだけ…ご紹介を！**

### 【問 8-1】 一日中誰とも話をしないことがある



ひとり暮らし高齢者の3割強が「一日中だれとも話したことがない」と回答。全体の結果の3倍となっています。

### 【問 8-3】 一日中どこにもでかけないことがある



ひとり暮らし高齢者の2割半ばが「一日中どこにもでかけないことがある」と回答。全体の結果の2.7倍となっています。

中立学区では、少子高齢化と人口減少が進んでいます。特に、ひとり暮らし高齢者の増大と上記調査結果のとおり、「ひとり暮らし高齢者の孤立化」が進んでいます。日常の暮らしの支え合いを豊かにし、災害時の人命救助につなげていくことが大切な課題となっています。